

15:31 受

1/2

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第20166報)

2019年 9月 1日 15時 15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。 ・福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果 [採取日 8月30日] 今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。 【公表区分：その他】
※添付の有・無	無
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2019年9月1日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果

単位:Bq/L

	1号機放水路立坑水		2号機放水路立坑水	
	上流側	下流側	上流側	下流側
採取日	8月30日	8月30日	8月30日	8月30日
採取時刻	8:36	9:15	8:50	9:19
Cs-134(約2年)	56	46	150	ND(5.9)
Cs-137(約30年)	800	780	2,000	100
全β	1,000	2,200	2,600	210
H-3(約12年)	ND(120)	350	ND(120)	230

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

15:31

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第20167報)

2019年 9月 1日 15時15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [9月 1日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 8月31日] ・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 8月31日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 8月28日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 8月30日、31日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクFの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、9月2日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 8月28日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/7

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2019年9月1日 11:00現在

【重要事項】
各計測値については、地震やその他の異常な影響を受けて、通常の使用状態を越えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの安全を確保するために、このような計測器の不確かさも考慮したうえで、装置の計測値から導かれる情報を活用して変化の傾向にも留意して異常的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.4 m ³ /h CS系: 1.4 m ³ /h (9/1 11:00 現在)	給水系: 1.4 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (9/1 11:00 現在)	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (9/1 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 27.3 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 27.2 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 27.2 °C (9/1 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 32.5 °C RPV温度 (TE-2-3-69F): 32.7 °C (9/1 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 30.5 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 29.8 °C (9/1 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 27.4 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 27.2 °C (9/1 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 33.1 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH-2-16B (TE-16-114G#1): 32.5 °C (9/1 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 31.2 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 29.3 °C (9/1 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.66 kPa g (9/1 11:00 現在)	2.30 kPa g (9/1 11:00 現在)	0.40 kPa g (9/1 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): 15.45 Nm ³ /h (RVH-B): - Nm ³ /h (JP-A): 14.05 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (9/1 11:00 現在)	RPV: 13.57 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (9/1 11:00 現在)	RPV: 17.23 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (9/1 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	21.0 m ³ /h (9/1 11:00 現在)	16.34 Nm ³ /h (9/1 11:00 現在)	18.28 Nm ³ /h (9/1 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水系温度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (9/1 11:00 現在)	A系: 0.02 vol% B系: 0.03 vol% (9/1 11:00 現在)	A系: 0.17 vol% B系: 0.16 vol% (9/1 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 Xe(135) ※2	A系: 指示値 7.60E-04 検出限界値 4.00E-04 B系: 指示値 9.30E-04 検出限界値 3.70E-04 (9/1 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 (9/1 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 2.2E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 2.2E-01 (9/1 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	33.0 °C (9/1 11:00 現在)	38.6 °C (9/1 11:00 現在)	- °C (9/1 11:00 現在)	※5
FPC 貯水タンク 水位	4.06 m (9/1 11:00 現在)	3.06 m (9/1 11:00 現在)	- m (9/1 11:00 現在)	66.8 X100mm (9/1 11:00 現在)

【計測値に関する事項】
※1: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水系温度が極めて低い場合は、計測器によりマイナス表示される場合があるため)
※2: 指示値が検出限界未満の場合はNDと記載する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度計 Xe(135) を記載する。
※3: 使用状態の異常・圧力が異常値を示した際を記載する。
※4: 窒素封入停止中
※5: 4号機 使用済燃料プール冷却系一次系ポンプ停止中
※6: 作業に伴い一時欠測

3/7

2019年9月1日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with columns for measurement date (8/11 to 8/31) and rows for measurement points ① to ⑤. Values are in Bq/L format (e.g., ND(4.4), ND(4.9)).

Cs-134 (Bq/L)

Table with columns for measurement date (8/11 to 8/31) and rows for measurement points ① to ⑤. Values are in Bq/L format (e.g., ND(5.0), ND(4.7)).

Cs-137 (Bq/L)

Table with columns for measurement date (8/11 to 8/31) and rows for measurement points ① to ⑤. Values are in Bq/L format (e.g., ND(5.3), ND(4.6)).

Measurement results summary including a table of counts (e.g., 43, 50, 62) and a list of locations (e.g., ①4号T/B建設南東, ②プロセス主建屋北東).

※「-」はサンプリング測定を実施していないことを示す。
※①は②が採取不可となったため、地下水流の上流側として測定し、週1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※②は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/26~)
※③を追加で測定(2011/5/30~)
※④を追加で測定(2011/8/2~)
※⑤は検出限界未満を示し、() 内に検出限界値を示す。

4/7

2019年9月1日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一 廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

		A排水路		物揚場排水路	
採取日		8月30日	8月31日	8月30日	8月31日
採取時刻		6:20	6:25	6:25	6:30
降雨量(mm/日)		0	0	0	0
流量(m ³ /秒)		解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)		ND(0.60)	ND(0.64)	ND(0.58)	ND(0.78)
Cs-137(約30年)		9.5	12	2.6	1.3
全β		12	13	3.8	6.0
H-3(約12年)		-	-	-	-

単位: Bq/L

		K排水路		BC排水路	
採取日		8月30日	8月31日	8月30日	8月31日
採取時刻		6:00	6:00	6:00	6:00
降雨量(mm/日)		0	0	0	0
流量(m ³ /秒)		解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)		1.5	ND(1.1)	ND(0.57)	ND(0.59)
Cs-137(約30年)		23	17	ND(0.72)	ND(0.81)
全β		33	24	ND(3.2)	ND(3.6)
H-3(約12年)		-	-	-	-

* 太枠内が今回公表データ。他は8月31日までにお知らせ済み。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

2019年9月1日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(1/2)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-B	地下水観測孔 No.1-9(注)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻														
塩素(単位: ppm)														
Cs-134(約2年)														
Cs-137(約30年)														
その他														
γ														
全β														
H-3(約12年)														
Sr-90(約29年)														

採取日	1,2号機 ウェルポイント 変り上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(注)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	2,3号機 変り上げ水	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(注)	3,4号機 変り上げ水
採取時刻							8月28日							
塩素(単位: ppm)							9.47							
Cs-134(約2年)							500							
Cs-137(約30年)							ND(0.42)							
その他							1.0							
γ														
全β							340							
H-3(約12年)							690							
Sr-90(約29年)							-							

* 太枠内が今回公表データ。他は8月29日にお知らせ済み。
 * NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてる過後に測定。

5/7

6/7

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/2)海水

単位: Bq/L

	福島第一 56号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物揚場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東防波堤北側)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾口	福島第一 港湾内 東側	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日		
採取時刻	7:32	7:26	6:20	7:05	7:10	6:45	6:42	6:40		
Cs-134 (約2年)	ND(0.48)	ND(0.38)	ND(0.48)	ND(0.42)	ND(0.66)	ND(0.67)	ND(0.39)	ND(0.26)	60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.53)	ND(0.47)	ND(0.43)	3.4	7.3	ND(0.63)	ND(0.52)	ND(0.27)	90	10
全β	—	ND(14)	17	ND(14)	21	14	ND(14)	ND(15)		
H-3 (約12年)	—	—	—	—	—	—	—	—	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—	—	—	—	—	30	10

単位: Bq/L

	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	福島第一 南放水口 付近 (T-2) ^(注)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月31日	8月30日		
採取時刻	6:36	6:34	6:44	6:38	—	—	—	—	—	7:00		
Cs-134 (約2年)	ND(0.24)	ND(0.31)	ND(0.27)	ND(0.46)	—	—	—	—	—	ND(0.67)	60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.33)	ND(0.31)	ND(0.25)	ND(0.58)	—	—	—	—	—	ND(0.83)	90	10
全β	ND(15)	ND(15)	ND(15)	ND(14)	—	—	—	—	—	13		
H-3 (約12年)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND(1.8)	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	10

* 本枠内が今回公表データ。他は8月31日にお知らせ済み。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「—」と記す。

* 物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。

(注) 地下水/バイパス排水の翌朝採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている(2014年10月19日以降)。

* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

7/7

2019年9月1日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

一時貯水タンクF (サンプルタンクF)		運用目標	告示濃度※1 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
東京電力	第三者機関			
採取日	2019年8月28日	2019年8月28日		
採取時刻	6:49	6:49		
貯水量 [m ³]	660	660		
セシウム134	ND(0.62)	ND(0.62)	60	10
セシウム137	ND(0.58)	ND(0.49)	90	10
その他 ガンマ核種	検出なし	検出なし		
全ベータ	ND(2.0)	ND(0.37)		
トリチウム	990	1,100	60,000	10,000

* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
 (別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

15:31 受

様式 9-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第20168報)

2019年 9月 1日 15時15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第20164報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクEに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 10時20分 ・排水終了 : 14時01分 ・排水量 : 548m³ <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。